

認知症講演会(県民公開講座～認知症を学び地域で支えましょう～)

協働の相手(名称)	佐賀県もの忘れ相談ネットワーク		
事業年度	平成20年度		
県の担当部署	健康福祉本部長寿社会課高齢者福祉担当	直通電話0952-25-7054	
県の予算額	150千円	協働の形態	共催

目指す姿

県民一人ひとりが認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、認知症の人が地域で安心して暮らせるまちづくりを目指す。

事業概要

県民が認知症の医療や介護に関する正しい知識を学び、認知症の人に対する理解を深めるために、認知症講演会を開催する。

講演会の内容

- ・介護職員による認知症に関する認知症となった父親とその家族の葛藤を描いた演劇
- ・専門医(精神科医)による認知症の症状や診断、治療などに関する講演
- ・「佐賀県もの忘れ相談ネットワーク」の活動の紹介
- ・認知症サポーター養成講座の紹介
(認知症サポーター:認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者)

協働の背景

「佐賀県もの忘れ相談ネットワーク」は、高い専門性を有し、共に企画することで専門性の高い内容になると考えた。

また、「佐賀県もの忘れ相談ネットワーク」の活動目的は、認知症疾患患者の早期受診・早期発見及び認知症の普及啓発であり、この目的は県の目的とも合致する。

以上により協働で実施することとした。

協働の内容

- ・新聞等によるPR
- ・医療機関等へのPR

佐賀県もの忘れ相談ネットワーク

共催

- ・ホームページや広報によるPR
- ・介護職員等へのPR

長寿社会課

企画・運営



認知症の演劇



杠先生の講演



協働の成果

- ・「佐賀県もの忘れ相談ネットワーク」と佐賀県の双方からのPRにより、多くの受講者を参集できた。
- ・協働で行うことにより、色々な意見を取り入れ、講演会の内容が有意義なものとなり、効率的・効果的な講演会を実施することができた。

県民のメリット

- ・「佐賀県もの忘れ相談ネットワーク」の活動のPRにより、県民が認知症の専門病院や気軽に相談ができるかかりつけの医療機関を知ることができた。
- ・県民に対する認知症の普及啓発は、認知症の人やその家族にとってメリットになったと思われる。

今後の展望

- ・「佐賀県もの忘れ相談ネットワーク」との共催による認知症講演会は平成20年度のみであるが、今後も当ネットワークと連携をとり、認知症に関する効果的な事業を行っていききたい。